



本年7月、世界新体操選手権鳥羽市市民応援団のみなさんが、市民体育館の前に花壇を造り、9月に開催された「第29回世界新体操選手権」では、マリーゴールド、サルビアなどきれいに咲いた花々が、多くの選手団を和ませました。

この花壇は、財伊勢志摩国立公園協会のgolfer緑化協力金により造られたもので、現在も、鳥羽市婦人会連絡協議会が中心となり植栽を行っています。

今後も、美しい花々が体育館を訪れた人々をお迎えしてくれることでしょう。

花々がお迎えします！



「国土交通大臣杯全国・離島交流ゲートボール親善大会」が、10月23日～25日、答志島の答志小学校などで行われました。

離島地域の振興とゲートボール愛好者の交流を目的に、全国の離島を会場として1年おきに開かれているこの大会は、今年で21回目を迎え、北は北海道、西は長崎まで計80チーム、約450人が参加しました。

25日には決勝トーナメントがあり、レベルの高いプレーに観衆からもどよめきの声が上がりました。また、予選で敗退したチームは交流試合を行い、参加者同士の親睦を深めました。

がいええぞーゲートボール！！

まちの
話題
1月号



灯台記念日の11月1日、菅島灯台が一般公開され、近代化産業遺産登録を記念した式典が行われました。

菅島灯台は、レンガ造りの洋式灯台としては国内最古のもので、昨年、経済産業省から近代化産業遺産に登録され、この日は、登録を記念したプレートの除幕式が行われました。

また、菅島灯台を描いた絵画コンテストの表彰式も行われました。

菅島灯台が近代化産業遺産登録



シンガポールで開かれる女子ラグビーワールドカップ2010アジア予選に、日本代表選手として出場する神島町出身の山本さやかさんが、10月28日、市役所を訪れ、市長に出場の報告をしました。

山本さんは、大学在学中に、知人に勧められてラグビーを始めましたが、それぞれの持ち場で個性を生かせるところに魅せられ、現在も社会人クラブ「名古屋レディース」で活躍しています。

市長から、「市全体で応援したい。けがのないように頑張ってください」と激励を受けた山本さんは、「大会では、自分から前に出て、相手を止める役割をきっちり果たしたい」と力強く抱負を語りました。

小さな体に大きな闘志を燃やして